

宮崎大学発 都農町かわら版

令和5年5月号



宮大が都農町寄附講座で行っている活動や情報を、定期的にお知らせします！



寄附講座とは、教育研究の進展及び充実を図ることを目的として、大学や研究機関などに対し寄附を行い講座を設置する制度です。町として単独での寄附講座の開設は全国的にも珍しく、**宮崎県内では初めての取り組み**です。

これからもさらに都農町の魅力を楽しむぞ！

毎号変わる！
大学生に聞いてみよう 宮大生インタビュー

黒木 健太さん 地域資源創成学部3年生

日向市東郷町出身。瀬川ゼミ所属。
まちづくりサークルSUZUNARI 副部長。
趣味：音楽を聴くこと。最近はミセスグリーンアップルが好き。伝統行事に興味があり、地元で感じていた昔ながらの人の温かさが好き。

Q.大学生になって楽しかったこと、嬉しかったことを教えてください。

2年生の時にSUZUNARIの活動で、夏休みに木和田で子どもたちと竹鉄砲で遊んだことです。企画から自分たちで作りが楽しく、思い出になりました！
自分は人見知りですが、言いたいことを言える仲間と話すことが楽しいです。

Q.ゼミ活動はどんなことをしていますか？

3年生2人で農村テーマを中心に様々な論文の輪読をしています。準備は大変ですが、終わって自分の視野が広がっていくのが快感。自分の成長が感じられます。
ゼミ研究は、農村の伝統行事について計画しています。

Q.まちづくりサークルSUZUNARIに入った理由は？

町の人と「おかえり」「ただいま」とあいさつする地元で育ったのですが、都農町にも似ている人の優しさがあると感じました。町の人々の居場所づくり、つながりを生むことに貢献できる活動がしたいと思って。

PBL I 始動！1年生30名が5/14(日)みちくさ市に参加し、会場でのお手伝いやアンケート調査をしました。

今年度新規に開講したPBL Iは1年生31名が履修しており、関心のあるテーマでグループを編成し、一年間を通して都農町のプロジェクトで活動します。

そこで、バスをチャーターしてほぼ全員が第4回みちくさ市に参加し、出店者の販売の手伝いや記録、グランドゴルフのパティングゲームの支援や利用者記録、来場者アンケート調査、来場者数測定を実施しました。初めて都農町を訪れる学生がほとんどで、町の方や町のまちづくりの様子を感じる良い機会になりました。



PBL II 2年生4名による寺迫地区での公民館活用、デジタル茶室、そば打ち交流実施に向けて活動開始！

5/19(金) 寺迫公民館で地区の方と顔合わせ、懇話会をしました。学生4名と地区の方10名で、今後の集まりの内容や住民ニーズを話し合いました。“そば打ち自己流だけどできるよ” “連絡方法もデジタルで？いや、やっぱり紙がいいよな”などと意見交換しました。活発なおしゃべりの時間に学生曰く
“最初は堅かったけれど、打ち解けられて嬉しかった！楽しい”と。



Q.大学生になって頑張っていること。

高校時代は引込みがちでしたが、大学に入って、自分から積極的に外部との関わりを持とうと色々なイベントに参加して自分磨きを頑張っています。外に出る習慣がつかえました。

Q.中高生へのメッセージ。自分がして良かったと思うこと。

自分は、中学の理科担任の先生の大人になっても学ぶ姿勢に憧れ、その先生とたくさん話をして刺激を受けました。大人や自分と違う経験を積んだ人とふれあうことは良かったと思いますね。

都農に来る
大学生に聞いてみたい
質問募集中だぴょん。



いざ、町に出よう！ 実習生の病院外での活動を再開します。

コロナ禍中止を余儀なくされていた医学部寄附講座の地域交流活動。院外の町の様子、町の人の様子を知ることは、地域医療の土台である地域を肌で感じ、気づきを得る大切な学びの時間です。是非、学生とのふれあい活動にご協力をお願いします。

5/17 SUZUKIハウスに行ってきました！ 社協と連携！

実習生が皆さんの健康のお悩み事を聞いたり、普段の生活や趣味の話をしながらか交流しました。今回は短期実習生の笠嶋さんが、健康についてのスライドを用意して、ミニ講話をしました。美味しいと評判のれんげの会お手製ランチを食べて、和気あいあいと楽しく過ごしましたよ～。



今後も実習生がちょいちょい（笑）お昼前後にお邪魔します。若いパワーをもらって（逆に学生も皆さんのパワーを頂いて^^）、茶飲み話をしに、SUZUKIハウスに来てくださいね。子育てパパママ&子どもも歓迎です！

色々とお話させて
いただきありがとう
ございました。
来週も楽しみに
しています！



みなさんの笑顔と
パワーで自然とこちらも
元気が出ました！

詳しくは、百年の誠実
Webサイト関連記事
SUZUKIハウス



パントリーけいすけ向かい
誰でも使える多世代交流サロン
毎週水・金 9:00-15:00
ランチ400円。お弁当持参OK！



5月のけんこう日記より抜粋(5/8) それは五月病のサインかも

遅刻や早退、欠勤が多い、仕事のミスが多い、ボーっとしている、ちょっとしたことで感情的になる。「今度やってきた新人はやる気がないな～。」みたいに思ったとしても、それは五月病、適応障害のサインかもしれません。人生の変わり目、進学や就職、転職、異動、転居、新しい仕事を任されるといった普段とは違った環境にうつった人がなりやすい五月病。几帳面でもまじめ、責任感が強い人がなりやすかったりします。・・・ **続きは→**



都農
けんこう
日記

☆総合診療講座のYoutubeのご紹介☆

町民の皆様におすすめは2本、
・「総合診療医」ってなに？【中高生向け】
・総合診療医のキャリアパス【宮崎大学】



医学生向けの動画のため、少しテンポは速いですが

インタビュー動画では、なぜ総合診療医を目指したか、実際の現場でどう感じているのか、先生方の思いが伝わってきます。お医者さんってどんなことを考えているんだろう、を知るきっかけに、先生との診療での話題に、是非見てみてください。

【動画に登場する都農町勤務経験のある先生】
坂口先生、楠元先生、井上先生、坂本先生、伊東先生、梶田先生、桐ヶ谷先生、吉村先生（順不同）

※つのまるの「とりくみ」もぜひ合わせてご覧ください。
1月から総合診療科の先生方のインタビューを連載中です。

つのまる

とりくみ



49歳で総合診療医の道へ、行政からの転身 | 都農町国民健康保険病院・伊東先生インタビュー



地域の患者さんの生活やぬくもりの近くにありたい | 都農町国民健康保険病院・井上先生インタビュー



総合診療は「医者になってよかったな」という経験を重ねられる仕事 | 都農町国民健康保険病院・梶田先生インタビュー

先生方へのエール、メッセージを届けたい方は、けんこう日記の質問箱にお寄せください。日記についてでなくても大丈夫です。先生にお届けします。



デジタル版

編集・作成：宮崎大学研究・産学地域連携推進機構
発行日：2023年5月24日（原則毎月発行）
発行元：一般財団法人つの未来まちづくり推進機構
問い合わせ：0983-32-1270（つ未来財団）